

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 235 号 2017. 11. 25

TOREK 秋季農産展 2017

●11月3日(祝)展示 出品者 91 名、出品数 426 点。

多くの来場者が訪れ、愛情込めて作られた自然農法の野菜たちを見学しました。稲穂も展示され、品種によって違いがあるのだなと学びました。お米の匂い比べ・食べ比べに挑戦し、確かに自然米はスツと口に入り、甘くおいしいですが、慣行米は舌に違和感が残るように感じられ、勉強になりました。

●11月19日(日)販売

たくさんの野菜や加工品が購入できるうえ、生産者とお客様が直接交流できる貴重な時間を過ごしました。会場の外では自然米の餅つきが行われ、子供たちが参加して盛況でした。自然農法の野菜盛りだくさんのトン汁を頂き、濃厚な味にいやされ、笑顔あふれる販売会となりました。(編集部)

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。



化学物質過敏症の母が食せる作物①

H・Mさん (取材：スタッフ大山朋子)



昨年 10 月 29 日 自然栽培フェア

自然栽培の食材が必要となったきっかけは、母が 15 年前に化学物質過敏症(以下 CS)を発症したためです。原因は、越してきたお宅の DIY (専門業者ではない人がする自作や修繕) でした。垣根の塗装、農薬、化学肥料を使った家庭菜園、庭木の消毒、シロアリ駆除した枕木の設置、これらが 1 年近く続きました。ふたが開いたペンキの一斗缶は我が家の台所換気扇の付近に置かれたため、毎日家事をこなしていた母を直撃。ご近所さんなので、苦情を言わず我慢に我慢を重ねてしまいました。枕木と一斗缶の撤去を最終的にお願いしましたが、時すでに遅し、発症寸前でのことでした。

母の体調が悪くなるのは体が弱いせいでは？とも言われましたが、断じてそんなことはなく、ちょっとしたきっかけで、誰でも発症する病だにご理解いただければと思います。

発症後、生活用品(衣類、洗剤、家電)、食品、あらゆるものが一気に使えなくなりました。一番の問題は「食」です。何も食べないわけにはいきませんし、CS は薬で治る病気ではなく、体の中にきちんとした栄養を取り込むことで、代謝を上げ、解毒能力を高くしないと、改善されない厄介な病気です。

初めは、慣行栽培、有機栽培、無農薬の野菜を近郊から取り寄せましたが、恐ろしいことに、買い物から戻り、野菜を家の中に入れておくだけで、母は動悸、目、喉の痛みを訴えました。まだ袋から出していないのに、化学物質(化学肥料)への反応は犬なみの検知でした。

そんな中、知人の CS 患者さんから、「無施肥で 6 年以上栽培している(できれば 10 年)物を探せば反応はないはず」とアドバイスを受け、その年(昨年 2016 年)の中野の「自然栽培フェア」を訪れました。自然栽培のお店を周りながら、10 年以上実績のある所を探すと、思いのほか数ははばられ、特にお米に関しては 2 件のみ、コシヒカリに関しては、「むせひ屋」さんだけでした。

有り難いことに、初めて購入した五十嵐さんのお米は、母への反応がないだけでなく、久しぶりに

食べる、おいしくもちりとした素晴らしいコシヒカリでした。「死ぬまでにもう 1 度、美味しいコシヒカリを食べたい」と言っていた母の願いが 15 年ぶりにかなった瞬間でもありました。

今まで食していた自然栽培米は、残念ながら、甘み、香り、粘り 3 拍子揃ったものではなく、それでも母が口にできるなら、おいしさは二の次と考えていました。安定して食べられるお米を見つけたい、私はただその一心だったのです。五十嵐さんのお米を食べている母の姿を見て、あきらめずに探して本当に良かったと安堵しました。



その後、鎌ヶ谷頒布会で初めて五十嵐さんにお会いしたとき、栽培工程の写真を拝見しました。水(用水路)までこだわり、他と一切混ざることはないとのこと、これだけこだわった米作りをなさる方ならば、きっと母も大丈夫と確信しました。何より五十嵐さん親子の実直さが私の心に響きました…(次回に続く)

雨風に負けない熱気あふれる自然栽培フェア!

東京都 原口祐樹

10 月 28、29 日に、中野駅前で「自然栽培フェア」が開催され、「むせひ屋」も出店いたしました。これで第 1 回目から 4 年連続の参加となりましたが、今年は文句なしの秋晴れとはいかず、台風が接近する中での開催となりました。特に 2 日目は荒れ模様の天候でしたので、開催自体が危ぶまれましたが、滞りなく開催され、また 2 日間を通じて大きなトラブルもなく、無事に販売を行うことができました。

荒れ模様の 2 日目、「むせひ屋」にお越しいただいた方は、さすがに 1 日目の半分近くに減ってしまいましたが(1 日目 106 人、2 日目 61 人)、売り上げは 1 日目と大差はありませんでした。要するに、2 日目は一人ひとりのお客様に、より多くお買い上げいただいたこととなります。雨風が強い中でお越しになれる分、自然農法の作物を求められる気持ちが強いということを感じました。またどんな状況でも、自然農法の作物を求めている方がいらっしゃるということを感じ、荒れ模様の天候に負けていられないという気持ちになりました。また来場者の方から「自然の作物がこれだけ多く集まり、生産者の方々と顔を合わすことはないの、有り難い機会」というお言葉を頂いたり、「さらに自然農法を普及してってください!」という熱い応援のお言葉も頂きました。

今回新たな試みとして、ブースの 1 つを活用して、ミニセミナーを実施し、農業系の大学生等多くの方々と、自然農法の現状、現在の食品添加物に関する問題点等について、熱い議論を行い、自然農法に関してさらに強い興味を持っていただきました。これからは、安心安全な自然農法の作物を多くの方にお届けするとともに、現在の「食」が抱える問題点等を伝えることで、自然農法の普及に微力ながらお役に立ちたいと思います。また、今年も多くの素晴らしい自然農法の作物や加工品を準備してくださいました生産者の方々に厚く御礼申し上げます。

お知らせ

- ★ 鎌ヶ谷むせひ屋頒布会 11 月 26 日(日) 鎌ヶ谷特設会場 09:30~15:00 (セミナー開催 11:00~)
- ★ 自然農法頒布会 12 月 10 日(日) 三咲会場 09:30~15:00
- ★ 自然農法頒布会 12 月 17 日(日) 東中野会場 10:00~15:00
- ★ 自然農法頒布会 12 月 26 日(火) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00

無施肥無農薬栽培物の販売予定

12 月 3 日 於：伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。 東京都八王子市長房町 57 042-665-6369

- 市川生産グループ：煎茶、ほうじ茶、ほうじ茶ティーバッグ、みかん
- きじま平自然農産：自然米、納豆、甘納豆、黒豆、米粉、浸し豆、ブルーベリージャム
- 菜園金野：サツマイモ、大根、里芋 ● 長柄山自然農園：卵、燻製卵、ひき肉、大根
- 中島農園：自然のリンゴ、長ネギ、下仁田ネギ、大根、小松菜、かつお、カブ、ジャガイモ、梅干
- ジョリフィーユ：マドレーヌ、プリン、かぼちゃのモンブラン 他

お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX：03-3369-3324 e-mail：naturefarming@torek.jp
TOREK 活動のホームページもご覧ください。 http://www.torek.jp